

基本方針のポイント

基本方針1：「触れる・創る」のポイント

- 文化芸術との出会いを生む「入口」づくり
- 「やってみたい」を支える、「参加してみたい」に応える仕組みづくり
- 持続的な文化芸術の担い手・ネットワークの形成

基本方針2：「知る・見つける」のポイント

- 学校や身近な場所での文化芸術体験の充実
- 文化芸術を通じてこどもが主体的に成長できる機会の創出
- こどもの文化体験を支える家庭・地域の支援体制づくり

基本方針3：「活かす・育む」のポイント

- 文化資源の認識と市民の誇りの醸成
- お茶や音楽など、京田辺らしさの再認識と継承
- 文化資源の活用による地域の魅力向上

基本方針4：「つながる・広げる」のポイント

- 文化芸術を通じた対話と連携の場の構築
- 誰もが集い、つながる複合型公共施設の整備
- 情報の集約と情報へのアクセス性の強化

計画の推進に向けて

文化芸術団体や活動等をつなぐプラットフォームの形成



■プラットフォームの機能

- ① 情報共有：継続的な意見交換の場を創出します。
- ② 協働促進：専門人材の派遣やマッチング・人材交流・活動の場の創出などの支援を行います。
- ③ 地域課題の解決：地域課題に対し、文化芸術の力を活かした解決支援を実施します。

第2期京田辺市文化振興計画

概要版

計画の概要

第2期計画策定の主旨

京田辺市では、まちづくりの最上位計画である第4次「京田辺市総合計画」において、「市民が文化に気軽にふれ、活動できる機会を充実するなど、京田辺らしい文化を創造し未来へ継承する、文化の薫るまちを目指す」ことを基本構想に掲げています。

この方針をふまえ、今後さらに京田辺らしい文化を未来へと継承していくためには、市民一人ひとりが主体的に文化に関わる環境を整備するとともに、地域に息づく多様な文化資源を活用していくことが求められます。

平成27年度には、「未来へつなぐ京田辺文化の創造」を基本理念とする「京田辺市文化振興計画」を策定し、京田辺らしい文化の創造に向けて、さまざまな文化芸術振興施策を推進してきました。令和7年度に現行計画の期間が終了することを受け、国や京都府の上位計画、市の総合計画との整合を図るとともに、実態調査や現状・課題の分析を踏まえたうえで、第2期文化振興計画を策定しました。

計画の位置付けと期間

本計画は、本市の文化芸術を推進する基本的な方向性を示すものであり、第4次京田辺市総合計画を上位計画とし、国や京都府の関連計画、ならびに京田辺市が策定する他の分野別計画との連携にも配慮しています。本市における文化振興に関する施策を、総合的かつ計画的に推進するための指針として位置づけ、令和8年度から令和17年度までの10年間を本計画の期間とします。

京田辺市の文化芸術の課題整理

京田辺市の文化芸術を取り巻く課題

(1) 市民が文化芸術に触れる機会のさらなる拡充

市内に文化芸術を広げていくためには、誰もが日常の中で気軽に文化芸術に触れられる環境づくりが求められています。まちなかや民間のオープンスペースなどでの文化芸術との偶発的な出会いや、多様な主体との連携による質の高い体験の創出を進めるとともに、文化芸術の価値を実感できる魅力的な企画の充実が重要です。

(2) こども達が文化芸術に触れる機会の創出

こども達の創造性や表現力を育むためには、自由に文化芸術に触れられる機会の確保や、文化芸術との主体的な関わりを促す体験の充実が求められています。教育機関と文化芸術団体等の連携、発達段階に応じた情報提供、家庭や地域との協働により、日常の中で文化芸術に親しむ継続的な機会を広げていくことが重要です。

(3) まちへの愛着と誇りを醸成する地域資源の活用

本市には茶畠や製茶工場をはじめ、歴史文化財や音楽活動など多様な文化資源が存在しています。それらの資源を次世代につなぎ、地域の魅力として活かしていくことが重要です。お茶文化や音楽活動に関する体験機会の充実や、それを支える人材の育成、市民が地域資源の価値を再認識し、産業・観光・教育と連携して活用していく視点の定着が求められています。

(4) 人や文化芸術活動を支える仕組みづくり

文化芸術活動は市内各所で広がりを見せており、今後は分野や世代を越えた連携や中間支援機能、コーディネーターの育成を含む仕組みづくりが求められています。また、文化芸術の活動や交流の拠点となる施設の整備と持続的な運営体制の構築、さらに多様な媒体を活用した情報発信と、市民が自然に情報へアクセスできる環境づくりを進めていくことが重要です。

基本理念

文化芸術は、人々の心を豊かにし、地域への愛着や誇りを育む力を持っています。市民やこども達が日常の中で文化芸術に触れ、創造や交流を通じて多様な価値観を分かち合うことが、地域の活力を生み出す原動力となります。このような人や地域とのつながりを大切にしながら、誰もが文化芸術に親しみ、その楽しさや喜びを実感できるまちを目指し、本計画では次の基本理念を掲げます。

文化芸術との出会いが広がり、人と人、人と地域がつながり、誇りが育まれる京田辺

市民が日常の中で文化芸術に親しみ、多様な価値観や表現と出会うことで、文化芸術への理解と関心を高め、地域に活動を息づかせます。また、文化芸術を通じた人と人、人と地域とのつながりにより、地域コミュニティの一体感や共感、協働の意識を育みます。あわせて、文化芸術や地域資源への関わりを通じ、市民一人ひとりが京田辺市への愛着と誇りを持ち、その魅力を主体的に発信できる地域社会の実現を目指します。

基本目標1

誰でも気軽に文化芸術に親しめる機会づくり

基本方針1 「触れる・創る」

誰でも気軽に文化芸術を観たり触れたり、自由に表現したりできるよう、日常の中で文化芸術と出会い、息づく場や機会の充実を図る

- ・こどもや高齢者、障がいを持つ人など、誰もが京田辺市内の文化施設やオープンスペースなどの身近な場所で、気軽に文化芸術の鑑賞や体験を楽しめる機会を創出していきます。
- ・市民が文化芸術に触れたくなるような、幅広い分野の魅力的な企画を充実させていきます。
- ・市民の文化芸術活動への意欲を高めるため、創作活動や発表の機会を充実させます。
- ・京田辺市内での文化芸術活動の機会を広げるため、各分野において市内外の芸術家や文化芸術団体との連携を強化します。

取組内容

取組1：誰でも気軽に文化芸術に出会える機会の充実
取組2：創作活動や発表の機会の充実
取組3：魅力的な文化芸術の企画の充実
取組4：芸術家や文化芸術団体等との連携

基本目標2

こども達の感性や創造性を高める機会づくり

基本方針2 「知る・見つける」

こども達が多様な文化芸術を体験する中で、自分の可能性を発見したり、意欲的に挑戦しながら成長を実感できる機会の創出を図る

- ・文化芸術団体と教育機関が協力し合い、こども達が多様な文化芸術に親しみ、気軽に活動に参加できる機会を増やしていきます。
- ・こども達が自ら興味のある文化芸術を発見し、主体的に成長していく取組を支援していきます。
- ・こども達の興味や関心を発見する機会を支える親や大人の支援、地域コミュニティの醸成を図っていきます。

取組内容

取組1：学校教育などにおける文化芸術の鑑賞や体験機会の充実
取組2：こどもが主体的に参加できる文化事業の充実
取組3：こどもの文化体験を支える子育て世代や団体、地域コミュニティとの連携

○誰もが気軽に文化芸術に親しめる機会にあふれ、文化芸術を通じて新しい価値観に出会えるまち

○こども達が文化芸術に触れる中で、自らの興味や関心を見つけ、意欲的に挑戦しながら成長できるまち

○市民が地域の魅力を認識し、積極的に関わりながら活かしていくことで、京田辺への愛着と誇りが育まれるまち

○市民が文化芸術の力を活かし、社会の幅広い分野で連携・協働することで、持続的に発展し広がる未来を創造できるまち

基本目標3

まちの愛着と誇りを育む地域の魅力づくり

基本方針3 「活かす・育む」

市民が京田辺市内の伝統や文化資源を認識し、資源を活かしながら地域の魅力を高めることで、まちへの愛着や誇りを育む環境をつくる

- ・市民が京田辺市内の伝統や歴史、文化財、自然など多様な文化資源を再認識し、「京田辺市らしさ」として愛着を持てる地域の魅力を育みます。
- ・本市を代表するお茶や食に関する文化について、地域に根差した歴史や風土とともにその価値を再認識し、体験の機会を創出していきます。
- ・世代を超えて親しまれている音楽文化を通じて、音楽を軸としたまちの魅力の発信と市民の誇りの醸成につなげていきます。
- ・京田辺市の文化資源が産業や観光の分野にも活かされ、市民が誇りを持って発信していくような環境を整えていきます。

取組内容

取組1：文化資源の発掘と保存
取組2：お茶や食に関する文化の魅力の発信
取組3：音楽に親しむまちの推進
取組4：文化資源の活用と発信

基本目標4

人や地域を支え合うためのつながりづくり

基本方針4 「つながる・広げる」

市民が地域の文化芸術の輪をつなげることで、多様な分野間で豊かな交流と関係が広がり、地域や社会に貢献できる環境を整える

- ・文化芸術団体等のつながりを形成する窓口としての役割を担う、文化芸術を総合的に支える基盤（プラットフォーム）の構築と支援を進めます。
- ・文化芸術に携わる人達を支援し、架け橋となる人材の確保・育成を図ります。
- ・多様な主体が文化芸術を通じて集い、交流の拠点となる複合型公共施設を新設します。
- ・文化芸術団体と連携しながら、文化に関するイベント等の情報を収集し、広報紙やSNS等で対象となる層へ適切に情報提供していきます。

取組内容

取組1：文化芸術の基盤となるプラットフォームの構築
取組2：市民の文化芸術活動を支える人材の育成・確保
取組3：誰もが集え、交流できる拠点となる複合型公共施設の新設
取組4：文化情報の幅広い収集と戦略的な発信機能の充実